

専門学校 久留米リハビリテーション学院 授業評価 —令和5年度の結果—

本学院では、授業の質の向上を念頭におき、「学生の授業満足度の把握と教員の研鑽」を目的として、専任教員の担当科目を対象に平成18年度より授業評価を開始、平成20年度より本格的にアンケート結果の分析を進めてきた。これを実施することにより、各教員が担当している科目の授業内容を振り返り、次期あるいは次年度に活用することで授業の質の向上を目指した。しかし、授業アンケートを進めていく中で、このアンケート結果を個々教員の授業改善だけでなく全教員がある一定の教授力を持てるように活用することで教育の質の担保ができないかと考え、平成23年度に授業アンケートのリニューアルを実施し、久留米リハビリテーション学院の授業における教員の取り組みや学生の満足度を広く公開することとした。

【学生による授業評価】

1. 評価項目

授業評価項目は、授業に関する一般事項を大項目とした。大項目および細項目ともに、平成22年度までの授業アンケートから評価内容や項目数の見直しを行った。大項目および細項目については、以下に示す。

(1) 授業構成

- ① シラバスの教育目標は明確に提示していた。
- ② シラバスの教育目標は達成された。
- ③ 授業内容を理解するにあたり適切に教科書及び講義資料の提示が行われた。
- ④ 授業内容を理解するにあたり適切な時間配分をもって行われた。

(2) 教員の授業の進め方

- ① 話し方は、明瞭で聞き取りやすかった。
- ② 重要なポイントを明確に示し、理解度を深めるための配慮を行っていた。

(3) 教員の伝え方

- ① 適切な授業環境を保つことに努め、効果的に学生の参加(発言等)を促した。
- ② 適切な助言を与えてくれた。
- ③ 実習や国家試験に活かせる知識・技術を習得することができた。

(4) 教員の関わり方

- ① 授業に対する熱意を感じた。

(5) 学生の授業へのモチベーション

- ① 授業中は、集中して教員の話や説明を聞いた。
- ② 授業に意欲的に取り組んだ。

2. 評価の方法および集計方法

平成22年度までの授業アンケートにおいては、評価項目に対し「強くそう思う」「そう思う」「そう思わない」「強くそう思わない」の4つの選択肢のうち該当するもの一つを選択してもら

い、どの選択肢にも該当しない項目については「無回答」としていたが、項目を見直し「強く
 そう思う」「そう思う」「どちらとも言えない」「そう思わない」「まったく思わない」の5つの
 選択肢に変更した。回答対象者のうちアンケート実施日に欠席した学生を「無回答」とした。
 また、感想・意見・希望などについては、前回のアンケートから変更せず自由に記載してもら
 った。

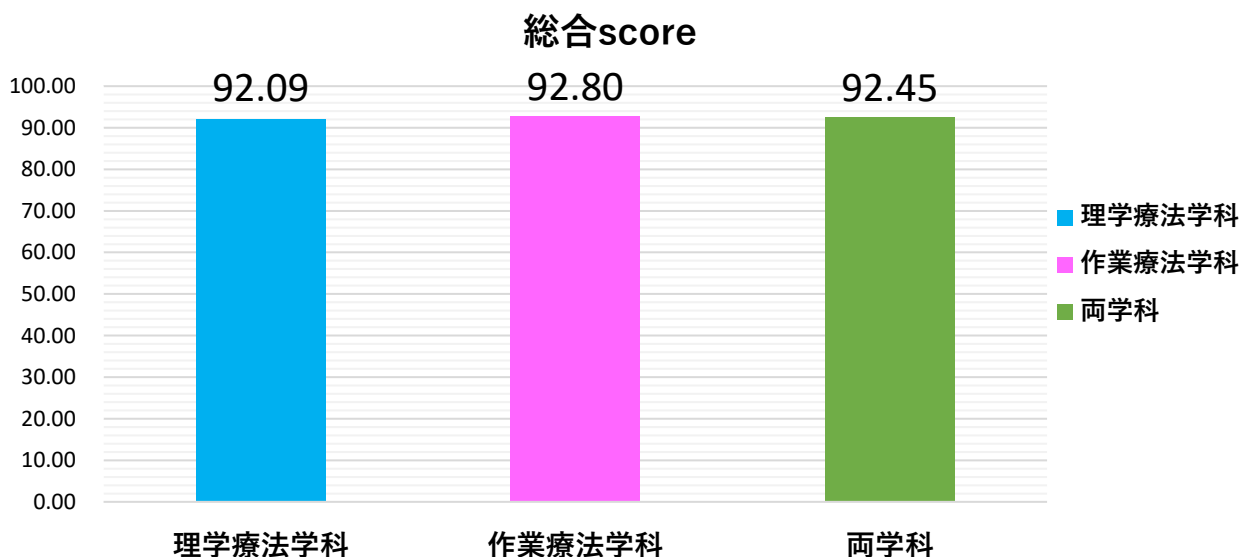
集計方法については、各選択肢を以下のように点数化し、各項目についてすべてが「強く
 そう思う」だった場合を満点として100点満点換算し、その割合を大項目ごとにグラフ化
 した。

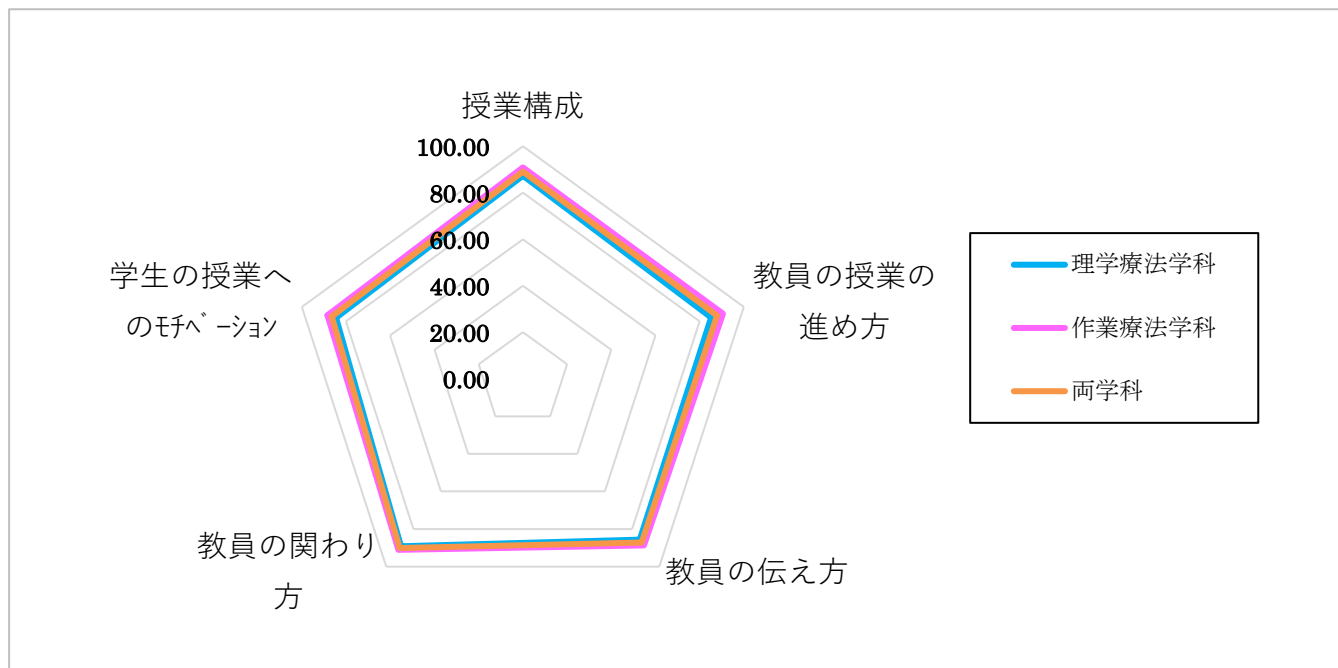
- 「強くそう思う」 : 5点
- 「そう思う」 : 4点
- 「どちらとも言えない」 : 3点
- 「そう思わない」 : 2点
- 「まったく思わない」 : 1点
- 「無回答」 : 0点

3. 結果

集計結果については、以下のような結果となった。

	理学療法学科	作業療法学科	両学科
授業構成	93.27	93.82	93.54
教員の授業の進め方	92.04	93.51	92.77
教員の伝え方	91.97	92.12	92.04
教員の関わり方	94.11	94.15	94.13
学生の授業への参加	89.06	90.42	89.74
総合 score	92.09	92.80	92.45





	理学療法学科			作業療法学科			両学科		
	R3	R4	R5	R3	R4	R5	R3	R4	R5
授業構成	89.60	87.33	93.27	88.14	90.91	93.82	88.87	89.12	93.54
教員の授業の進め方	87.78	85.22	92.04	86.40	90.56	93.51	87.09	87.89	92.77
教員の伝え方	87.86	85.66	91.97	84.18	88.63	92.12	86.02	87.14	92.04
教員の関わり方	92.07	89.16	94.11	88.23	91.06	94.15	90.15	90.11	94.13
学生の授業へのモチベーション	88.39	84.53	89.06	87.50	88.41	90.42	87.95	86.47	89.74
総合scora	89.14	86.38	92.09	86.89	89.91	92.80	88.02	88.15	92.45

(学生による自由記載欄のコメント)

科目	代表的なコメント
運動系統学 (PT・OT)	<p>質問する時間を細かくとっていただき、その日のうちにわからない所を理解することができた。</p> <p>動画を見たり体を使って説明をしてくださるのでイメージがしやすく分かりやすかったです。</p> <p>明確に予習や復習の範囲を提示して頂いたので学習を取り組もうという気持ちになりました。</p> <p>授業の間に確認のテストがあり、自分の理解を確かめることが出来たので頭に入りやすかった。</p>
臓器系統学 (PT・OT)	<p>イメージしにくいところが動画を使って可視化できてとても理解がしやすかった。</p> <p>授業スライドの絵を先生が説明してくださった後にすぐ班でのアウトプットの時間があり頭に入りやすかった。</p>

神経系統学 (PT・OT)	わからないところを聞いても一から丁寧に説明してくださり理解でき学習の意欲があがった 授業内でアウトプットを行うことで、覚えているうちに苦手な部分などを見つけ、班で教えて貰うことが出来てありがたかったです。
リハビリテーション概論 (PT・OT)	図や表を利用した説明が多く、わかりやすかった。 先生の働いていた時の体験談を踏まえて教えてもらい、分かりやすかった。 教科書の中で分かりやすく記載しているページを提示しながら説明をしていただいた。
理学療法概論 (PT)	具体例を挙げていただいたことで、言葉の理解がしやすかった。 知識だけでなく臨床・実習で生かすことのできることも教えていただいた。 授業内容を繰り返し確認したのでわかりやすかった。
作業療法概論 (OT)	画像や臨床の時の話などを聞いて実際の現場でのことを知ることができた。 1つの動画を見て、班ごとに調べ学習を行い、自分たちの班では気づけていなかったことなど他の人の着眼点などを知れたので良かった。
運動器障害理学療法学 (PT) 運動器障害作業療法学 (OT)	検査方法など実際にデモンストレーションを行ってもらったのでわかりやすかった。 毎回授業後の Google フォームでの予習が確認もできるので良かった。 授業内容に沿った国試問題を提示して下さり理解が深まった。
精神医学 (PT・OT)	国家試験に出やすい重要な部分や理解する上で必要な情報の提示がありとても分かりやすかったです。 イメージのしやすい動画や臨床現場での話などが織り交ぜられて理解しやすかった。 細かく教科書のページを示していただけるので、どこを見たらよいか自己学習でも見やすくなった。

授業評価総評

例年、久留米リハビリテーション学院では「授業評価」を実施しています。

令和4年度の授業評価との比較を行いました。授業評価の詳細は昨年度のパナーを参照してください。

先ず理学療法学科ですが、令和4年度の総合評価が86.38ポイント、令和5年度の総合評価は92.09ポイントであり、総合で5.71ポイント上がりました。詳細を見ていくと「授業構成」では5.94ポイント、「授業の進め方」では6.82ポイント、「教員の伝え方」では6.31ポイント、「教員の関わり方」では4.95ポイント、「学生の授業へのモチベーション」では4.53ポイントと、すべての項目で昨年のポイントを上回りました。

次に作業療法学科ですが、令和4年度の総合評価が89.91ポイント、令和5年度の総合評価は

92.80ポイントであり、総合で2.89ポイント上がりました。詳細を見ていくと「授業構成」では2.91ポイント、「授業の進め方」では2.95ポイント、「教員の伝え方」では3.49ポイント、「教員の関わり方」では3.09ポイント、「学生の授業へのモチベーション」では2.01ポイントと、すべての項目で昨年のポイントを上回りました。

両学科共に結果として昨年以上の評価をいただきましたが、慢心せず、より良い講義ができるように取り組んでいきたいと考えます。近年、学生の成績向上のために、居残り学習や早期からのグループ学習の導入など様々な取り組みを行っておりますが、やはり学習の原点は「予習をし、講義をしっかりと聞き、復習をすること」だと考えております。そのためにも、学生がいかに関心を持って講義に臨むかが重要であり、学生の自主性を導き出すよう講義を展開させていく必要性を感じております。

当学院では前・後期終了ごとに授業評価を行い、それに対する振り返りや改善への取り組みを行っています。

今回の結果を踏まえ、各教員には「講義実施に関する課題とその対応」を認識してもらい、より良い講義となるように次年度以降の講義に取り組んでもらいます。

令和6年2月吉日

専門学校 久留米リハビリテーション学院

教務部長 大坪 健一